



129
2024年(令和6年)
4/19 発行
あなたと議会のかけ橋に

苓北町議会だより

きずな



主な内容

- 臨時会…………… 2
- 定例会・全員協議会…………… 3～10
- 一般質問・特別委員会…………… 11～15

萬松山國照寺中門

発行 苓北町議会 TEL35-3337
編集 議会広報特別委員会

こんなことが決まりました！！

令和6年 第2回議会定例会 開催日：3月6日～14日

令和6年第2回定例会が、3月6日（水）から3月14日（木）までの会期で開会され、条例改正や令和5年度補正予算及び令和6年度当初予算などが上程されました。

■条例改正等について

議案番号等	事 件 名	提案理由	結果
議案第3号	苓北町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例について	印鑑証明書の発行をマイナンバーカードでの申請も認めることとした。令和6年4月1日運用開始。（コンビニエンスストアでも取得できる。）	◎
議案第4号	苓北町課設置条例の一部を改正する条例について	水道事業・下水道事業を令和6年4月1日から公営企業会計に移行することに伴う改正。	◎
議案第5号	苓北町職員の定数に関する条例の一部を改正する条例について	振興計画を踏まえた適切な職員の定数管理を行うとともに、水道事業・下水道事業を令和6年4月1日から公営企業会計に移行することに伴う改正。合計110人を95人とする。	◎
議案第6号	苓北町会計年度任用職員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について	会計年度任用職員への勤勉手当の支給が可能となったことに伴う改正。	◎
議案第7号	苓北町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	国民健康保険法が改正されたことでの限度額と軽減の条件緩和に併せ、熊本県が目指す保険税額、県下「完全統一」を果たするための経過措置としての苓北町としての税率単独改正。	◎
議案第8号	苓北町奨学資金貸付条例の一部を改正する条例について	有用な人材を育成・確保するため、奨学生の資格要件を見直す必要があるため。	◎
議案第9号	苓北町重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部を改正する条例について	原則、苓北町に対し当該医療費助成申請を提出することを不要とするために伴う改正。	◎
議案第10号	苓北町介護保険条例の一部を改正する条例について	第9期介護保険事業計画期間における介護保険料を決定したことに伴う改正。基本額5,800円（月額）は据え置くと、9段階を13段階に改正。	◎
議案第11号	苓北町漁港管理条例の一部を改正する条例について	漁港漁場整備法が改正され、漁業上の利用を確保した上で、民間事業者が漁港施設等を利用して水産食堂等の水産物の消費増進等に寄与する事業を行うことを認める漁港施設等活用事業が創設されたことに伴う改正。	◎
議案第12号	苓北町水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について	事業の経営規模並びに議会の議決を要する町の義務に属する損害賠償の額を改める必要があるため。	◎
議案第13号	苓北町水道事業給水条例の一部を改正する条例について	水道整備・管理行政が厚生労働省から国土交通省及び環境省へ移管されることに伴う改正。	◎
議案第14号	苓北町下水道条例の一部を改正する条例について	特定環境保全公共下水道事業を令和6年4月1日から公営企業会計に移行することに伴う改正。	◎
議案第15号	苓北町下水道事業受益者分担に関する条例の一部を改正する条例について	特定環境保全公共下水道事業を令和6年4月1日から公営企業会計に移行することに伴う改正。	◎
議案第16号	苓北町農業集落排水処理設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	農業集落排水事業を令和6年4月1日から公営企業会計に移行することに伴う改正。	◎

【結果の表示について】◎全会一致で可決

こんなことが決まりました！！

令和6年 第1回議会臨時会 開催日：2月19日

■条例改正等について

議案番号等	事 件 名	備 考	結果
議案第1号	苓北町手数料条例の一部を改正する条例について	戸籍法の一部が改正されたことに伴い、戸籍電子証明書提供用識別符号の項目を追加する等、所要の改正がなされた。 施行日 令和6年3月1日	◎
報告第1号	専決第1号 損害賠償額の決定及び和解について	苓北町消防団第2分団に属する消防団員が運転する消防車が当該消防倉庫付近に駐車していた相手方の自家用車後方に接触し、損傷させた。 損害賠償額 110,033円	-
-	苓北町選挙管理委員の選挙について	坂瀬川 田尻幹雄氏 志 岐 立山清剛氏 富 岡 松野 茂氏 都呂々 小崎重輝氏 が投票により当選人となった。 任期 R6.3.21～R10.3.20	-
-	苓北町選挙管理委員補充員の選挙について	第2順位坂瀬川 山崎敬一氏 第3順位志 岐 荒木真喜子氏 第1順位富 岡 松本良雄氏 第4順位都呂々 尾脇宣宏氏 が議長の指名推薦により当選人となった。 任期 R6.3.21～R10.3.20	-

【結果の表示について】◎全会一致で可決 - 報告・選挙につき採決なし

■令和5年度 専決補正予算について

(単位：千円)

議案番号	事 件 名	補正前の額	補正額	補正後の額	備 考	結果
承認1号	専決第2号 一般会計補正予算（第8号）	5,683,074	84,837	5,767,911	物価高騰対策支援給付金（住民税均等割のみの課税世帯）27,000千円他の増額。	◎

【結果の表示について】◎全会一致で可決

■令和5年度 補正予算について

(単位：千円)

議案番号	事 件 名	補正前の額	補正額	補正後の額	備 考	結果
議案2号	一般会計補正予算（第9号）	5,767,911	46,100	5,814,011	坂瀬川漁港向路防波堤修繕他に係る46,100千円の増額。	○

【結果の表示について】○賛成多数で可決 賛否表は下欄のとおり

賛否表（ ○ 賛成 ・ ● 反対 議長（野崎）は採決に加わらない）

議案番号	事 件 名	結果	表採決										
			賛成：反対	田嶋	山口	廣田	松本	浜口	田崎	倉田	錦戸	高戸	野崎
議案第2号	一般会計補正予算（第9号）	可決	8：1	○	○	○	●	○	○	○	○	○	-

茶北町議会だより「きずな」第129号

■令和6年度各会計当初予算について

(単位：千円)

議案番号	事 件 名	本年度予算額	前年度予算額	比 較	結果
議案第20号	令和6年度茶北町一般会計予算	5,311,000	4,793,000	518,000	○
議案第21号	令和6年度茶北町坂瀬川財産区特別会計予算	2,182	1,841	341	◎
議案第22号	令和6年度茶北町都呂々財産区特別会計予算	67,029	61,284	5,745	◎
議案第23号	令和6年度茶北町国民健康保険特別会計予算	1,013,065	1,004,608	8,457	◎
議案第24号	令和6年度茶北町介護保険特別会計予算	1,079,287	1,095,699	△ 16,412	◎
議案第25号	令和6年度茶北町後期高齢者医療特別会計予算	149,102	132,374	16,728	◎
議案第26号	令和6年度茶北町宅地造成事業特別会計予算	12,588	8,662	3,926	◎

【結果の表示について】◎全会一致で可決 ○賛成多数で可決 (賛否表は下欄のとおり)

※議案第27号令和6年度茶北町水道事業会計、議案第28号令和6年度茶北町下水道事業会計については、全会一致で可決。令和6年度から従来の特別会計から公営企業会計移行により、下欄にて掲載しています。

賛否表 (○ 賛成 ・ ● 反対 議長(野崎)は採決に加わらない)

議案番号等	事 件 名	結果	表採決	田嶋	山口	廣田	松本	浜口	田崎	倉田	錦戸	高戸	野崎
			賛成：反対										
発議第1号	茶北町議会議員の期末手当の特例に関する条例の制定について	否決	2：7	●	●	●	○	○	●	●	●	●	-
議案第20号	令和6年度茶北町一般会計予算	可決	7：2	○	○	○	●	●	○	○	○	○	-

特別会計 (単位：千円)

項 目	予算額
坂瀬川財産区	2,182
都呂々財産区	67,029
国民健康保険	1,013,065
介護保険	1,079,287
後期高齢者医療	149,102
宅地造成事業	12,588

公営企業会計 (単位：千円)

項 目		予算額
水道事業会計	収益的収入	194,550
	収益的支出	285,232
	資本的収入	28,290
	資本的支出	49,670
下水道事業会計	収益的収入	297,500
	収益的支出	510,900
	資本的収入	313,550
	資本的支出	313,685

令和6年度から地方公営企業法の適用により、会計処理の変更となった。

目的＝独立採算制を原則とした自律的な経営組織体制を作ること、持続可能性を充実・強化するためのもの。また、事業の黒字化を求めることではなく、経営基盤構築をしようとするもの。

■条例改正等について

議案番号等	事 件 名	提案理由	結果
議案第17号	茶北町農業集落排水事業受益者分担に関する条例の一部を改正する条例について	農業集落排水事業を令和6年4月1日から公営企業会計に移行することに伴う改正。	◎
議案第18号	茶北町特定地域生活排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	特定地域生活排水処理事業を令和6年4月1日から公営企業会計に移行することに伴う改正。	◎
議案第19号	茶北町特定地域生活排水処理事業受益者分担に関する条例の一部を改正する条例について	特定地域生活排水処理事業を令和6年4月1日から公営企業会計に移行することに伴う改正。	◎
議案第36号	茶北町過疎地域持続的発展計画の変更について	左記計画に次の事業内容を追加する。都呂々農業用水管更新事業、堆肥センター更新事業、港湾・港湾海岸改修事業、公園整備事業	◎
議案第37号	町道路線の廃止について	町道管理を統合型GIS(地理情報システム)で行うことによる現路線の全部廃止。404路線。	◎
議案第38号	町道路線の認定について	町道管理を統合型GIS(地理情報システム)に行うことによる路線の全部認定。418路線。(既存の路線の修正と新規路線含む)	◎
議案第39号	公有水面埋立について	埋立免許出願に係る地元の意見について議会の議決を経る必要があるため。道路用地となる、都呂々字八久保ほか、これらの区域に隣接している道路地先公有水面。7,709.97㎡	◎
議案第40号	茶北町税条例の一部を改正する条例について	令和6年1月1日に発生した能登半島地震に伴う雑損控除を令和6年度住民税の申告から適用させるため等の改正。	◎
発議第1号	茶北町議会議員の期末手当の特例に関する条例の制定について	コロナ禍、物価高騰等を考慮し、住民生活の安定化に寄与するため、令和6年度に限り、議会議員の期末手当を削減するもの。提出者：浜口雅英議員	×
発議第2号	ロシアによるウクライナ侵攻やイスラエルとハマスの紛争に抗議し世界の恒久平和を求める決議について	左記内容を茶北町議会の意思として、対外表明するもの。提出者：浜口雅英議員 賛成者：倉田明議員	◎

【結果の表示について】◎全会一致で可決 ×賛成少数で否決 (賛否表はP5のとおり)

■令和5年度各会計補正予算について

(単位：千円)

議案番号	事 件 名	補正前の額	補正額	補正後の額	備 考	結果
議案第29号	令和5年度茶北町一般会計補正予算(第10号)	5,814,011	39,654	5,853,665	町道舗装事業(令和6年度へ繰越)の増他	◎
議案第30号	令和5年度茶北町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	1,047,463	△ 11,567	1,035,896	県支出金△24,087千円による精算調整	◎
議案第31号	令和5年度茶北町介護保険特別会計補正予算(第4号)	1,128,241	△ 2,500	1,125,741	介護予防サービス等諸費の減	◎
議案第32号	令和5年度茶北町水道特別会計補正予算(第4号)	218,744	42,345	261,089	基金繰入金の増	◎
議案第33号	令和5年度茶北町下水道特別会計補正予算(第3号)	350,729	△ 8,500	342,229	基金繰入金の減	◎
議案第34号	令和5年度茶北町特定地域生活排水処理事業特別会計補正予算(第3号)	56,571	△ 348	56,223	精算調整	◎
議案第35号	令和5年度茶北町宅地造成事業特別会計補正予算(第2号)	8,685	△ 4,802	3,883	財産売払収入の減	◎

【結果の表示について】◎全会一致で可決

苓北町議会予算審査特別委員会
審査報告書

苓北町議会予算審査特別委員会
委員長 倉田 明

議定定例会において付託された、令和6年度苓北町一般会計予算(案)及び特別会計予算(案)の審査結果について、次のとおり報告します。

1. 審査年月日
令和6年3月11日・12日・13日

2. 出席委員
倉田明委員長、山口利生副委員長、田嶋健司、廣田幸英、松本良人、浜口雅英、田嶋稔、錦戸俊春、高戸幸雄各委員

3. 委員以外の出席
野崎幸洋議長

4. 審査の過程
執行部の出席を求め、各会計予算(案)の費用ごとに慎重に審査しました。

5. 審査の結果

- ① 一般会計予算(案)
② 坂瀬川財産区特別会計予算(案)
③ 都呂々財産区特別会計予算(案)
④ 国民健康保険特別会計予算(案)
⑤ 介護保険特別会計予算(案)
⑥ 後期高齢者医療特別会計予算(案)
⑦ 宅地造成事業特別会計予算(案)
⑧ 水道事業会計予算(案)
⑨ 下水道事業会計予算(案)
● 決定 ① 一般会計予算(案) から、⑨ 下水道事業会計予算(案) まですべて「原案可決すべきもの」と決定しました。

6. 修正案の提出…あり
一般会計予算(案) に対する修正案その1(議会費Ⅱ期末手当削除) 委員会の結果 否決
一般会計予算(案) に対する修正案その2(上津深江広域避難地防災公園実施設計業務委託料削除) 委員会の結果 否決

7. 要望事項の提出Ⅱ次のとおり執行部に
対し要望することに決定しました。

- ① 一般会計
(1) 歳入について
○ ふるさとづくり寄付金の増については、引き続き努力されたい。
○ 企業誘致活動について、さらに努力されたい。
○ 少子高齢化社会に対応した人口減少対策事業の充実と強化に努められたい。
○ 物価高騰への対応に努められたい。
② 特別会計
○ 国民健康保険特別会計
健康づくり事業の強化・充実に努められたい。
○ 介護保険特別会計
介護予防事業の強化・充実に努められたい。
○ 後期高齢者医療特別会計
健康づくり事業の強化・充実に努められたい。
③ 特記事項
○ 風力発電建設にあたっては、事業者との連携を図り、事故防止に努められたい。

一般会計 (単位：千円)

Table with 3 columns: 区分・率, 項目, 予算額. Rows include 自主財源 (町税, 財産収入, etc.), 依存財源 (国庫支出金, 県支出金, etc.), and 合計 (5,311,000).

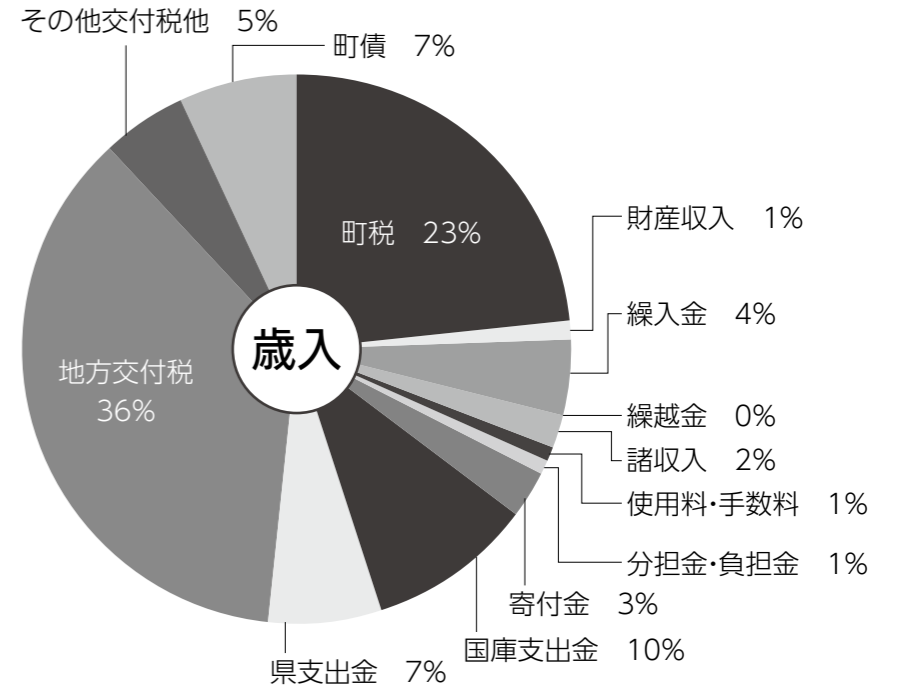
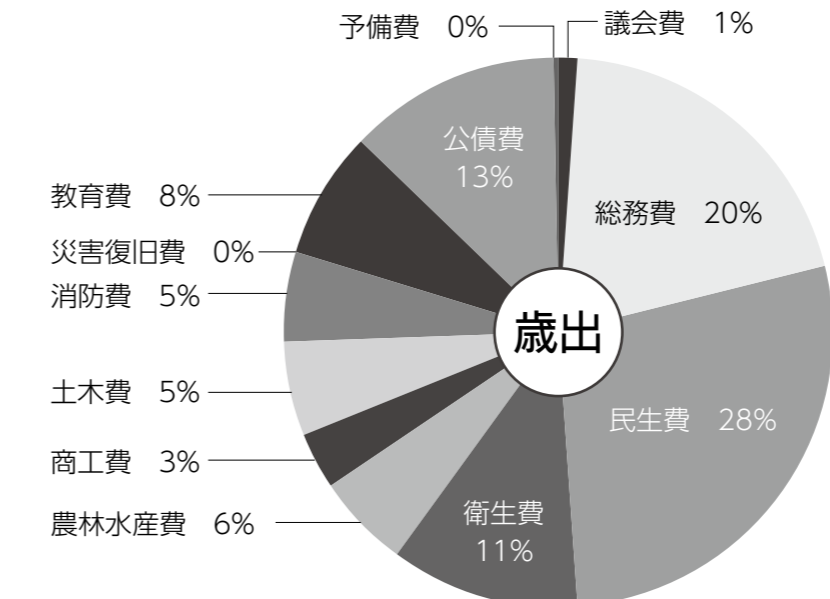


Table with 2 columns: 項目, 予算額. Lists expenditure items like 議会費 (64,887), 総務費 (1,058,768), 民生費 (1,478,683), etc., totaling 5,311,000.



※円グラフにおける小数点以下の数字は調整されています。

Table with 2 columns: 基金残高 (2,214,746), 起債残高 (うち臨時財政対策債) (6,077,692 (2,308,057)).

※令和6年3月見込み額

※臨時財政対策債とは、国から交付される地方交付税の不足分を補うための特例的な町債です。用途は自由で、元利償還金は翌年度以降、国が地方交付税で全額措置を行うものです。

議案第20号 令和6年度苓北町一般会計予算に対する討論
原案に反対討論
浜口議員
私達を取り巻く社会は、コロナ禍やロシアのウクライナ侵攻等による輸入穀物や資材の高騰により、厳しい生活を余儀なくされている。
町は、日頃から農業、林業、漁業の一次産業を町の基幹産業として、これの振興に力を入れると常々と口にし、我々議員もこの事に賛同している。
この様な社会環境の中で町民生活の安寧に少しでもお手伝いをすべき。『口先だけの町民優先なのか。口先だけでなく身をもって町民生活の安寧に力を注ぐべき。』この期末手当の原資は町民の税金で期末手当6百73万2千円、一人当たりの単純計算で67万3千円は全額カットし、カットした議員期末手当は人口減少、高齢化対策、子育て環境の整備に流用すべき。よって原案反対。

原案に賛成討論
廣田議員
様々な施策があるが、取り分け地域づくり実践塾等、町民の声を取り入れ、関係機関との連携を怠ることなく、新たな命の誕生を歓迎し、応援し、共に育む姿勢が人口回復につながっていくものと確信する。
高戸議員
令和6年度一般会計予算は、財政の健全化を図りながら、本町基盤産業である農林水産業を始め、大変厳しい状況下にある少子化対策に対して積極的な財政支援策が計画されている。予算成立後速やかに事業実施に取組まれるよう切望し賛成する。
田嶋議員
私は子育て世代の一人として、町内に子どもが遊ぶ施設が無く残念に思っていた。また、私の周りの子を持つ保護者の間でも、施設を望む声が多く聞かれる。施設の内容等は、まだ検討する余地はあると思うが、子どもたちが安心して遊べる場所があるということは、町の魅力アップになり、大きな財産にもなる。

執行部から、計画平面図や、鳥瞰図を使用して上津深江広域避難地防災公園の整備計画についての説明があり、議員からいろいろな意見が出された。

五. 上津深江広域避難地防災公園整備基本計画について

稼働から23年が経過し、各種機械の老朽化による修繕費が堆肥センターの経営を圧迫しており、経営の安定を図り、堆肥センターの活用を促進するためにも、農林水産省の「国内肥料資源利用拡大対策事業」を活用して、機械、車両類を更新し、今後の運用計画の説明を受けた。

四. 堆肥センターの更新について

熊本県による、国道389号の都呂々唐千田から萱の木間の、延長約760m、第3種第3級(50km/h)、幅員9.0mの拡幅事業を、断面図、平面図を用いて説明を受けた。

三. 公有水面埋立について(国道389号都呂々地区)

全員協議会

堆肥センターの具体的な更新内容

Table with 5 columns: 設備, 現状, 更新内容, 更新費用, 財源内訳. Rows include ①堆肥攪拌機, ②ホイールローダー, ③油圧ショベル, ④2tダンプ, ⑤2tユニック, and a total row.

上津深江広域避難地防災公園鳥瞰図



※イメージ図です。

■人事案件(任命・選任)について

Table with 4 columns: 議案番号等, 事件名, 結果. Content: 同意第1号, 苓北町監査委員の選任について, 同意. Sub-table with columns: 氏名, 住所, 任期.

■陳情等文書の取扱結果

Table with 4 columns: 受理年月日等, 件名, 提出者, 結果. Content: R 5.11.28, 年金制度における外国人への脱退一時金の是正を求める意見書の採択を求める陳情, 福岡県行橋市上稗田 1097-1 小坪慎也, 議員配布.

発議第2号 ロシアによるウクライナ侵攻やイスラエルとハマスの紛争に抗議し世界の恒久平和を求める決議について

令和6年第2回議会定例会において、発議者 浜口雅英議員、賛成者 倉田明議員として、決議(案)を上程。全会一致により採択しました。 2022年2月、ロシア軍がウクライナに侵攻。そして、その後イスラエルとハマスの紛争が勃発したとの報道がありました。 どの様な理由があろうとも、戦争によって人々の生命や財産が脅かされるという事態はあってはなりません。この事は、国際社会の平和と安全を損なう断じて容認することができない行為です。関係国や団体は直ちに攻撃を停止し、関係者の生命と生活を守るべきです。 よって、本苓北町議会は、関係国や団体は直ちに攻撃を中止し、即時、完全撤退をし、世界平和の実現に取り組みべきです。 以上決議します。 令和6年3月14日 苓北町議会

令和6年1月30日(火)

全員協議会

一. 苓北町健康ポイント事業について

健康増進室から事業の概要と年間スケジュール等の説明を受けた。 スマートフォンアプリ「もつと健康ーげんき!アップくまもと」を利用し、日々の健康記録・歩数・運動健康関連イベント参加・検診等の受診でポイントを付与し、累計ポイントに応じた豪華賞品が当たる年度末抽選会に応募できる。

二. 公営企業会計移行に伴う予算書等について

水道環境課から公営企業会計への移行について説明を受け、令和6年度苓北町水道事業会計予算書(案)について報告を受けた。

令和6年3月6日(水)

一. 第9期介護保険事業計画及び高齢者福祉計画(令和6、8年度)について

第9期介護保険事業計画及び高齢者福祉計画(案)の説明を受け、苓北町の人口、世帯、認定者それぞれの状況、介護給付費等の地域分布の説明を受け、第9期介護保険料は基準額(月額)5,800円とする報告を受けた。

二. 町道路線の廃止及び認定について

「苓北町統合型GIS構築業務」により、町道の道路台帳の電子化後の円滑な道路管理行政の運営、各種手続きの効率化を目指すにあたり、路線の結合等の見直しを行う必要があるため、町道全路線の廃止及び再認定を行う旨の報告を受けた。

審議経過等の報告、路線組替等の町道路線網図、主な路線の見直し事例の説明を受けた。

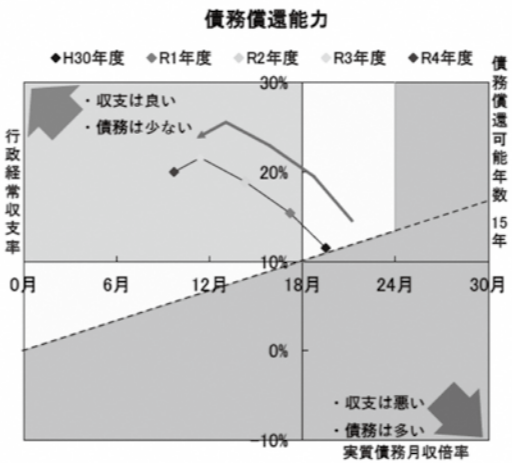
令和6年3月7日(木)

一・天草エアライン(株)資本金の減少について

天草エアラインでは、事業規模に応じた適正な税制の適用を通じ財務体質の改善を図るため、無償減資(資本金4・99億円から1億円)を行い、減少する資本金の全部を資本準備金にし、令和6年2月28日に臨時株主総会を開催、3月20日に登記完了予定と説明を受けた。

二・財務状況把握の結果概要等について

九州財務局理財部融資課の担当者が来町され、荅北町の財務状況を行政キヤッシュフロー計算書で説明、行政経常収支率、債務償還可能年数、実質債務月収倍率、積立金等月収倍率を用いて令和4年度を診断した結果、直近5年間は、債務償還能力、資金繰り状況とも留意すべき状況にない、と診断されたとのことだった。



全員協議会

三・地域イノベーション連携モデル推進事業の成果について

イノベーションマネージャーの大仁田英貴氏から、メタバース連動型エイジテックサービス創出事業の実況と事業成果につき映像を交えての報告を受け、併せて今後の事業計画の説明を受けた。

中学校総合学習への参画
実施日時: 令和5年7月18日(火)
参加者数: 荅北中学生1年~3年、160名
荅北町の高齢者課題とメタバースを学ぶ初心者向けの講座を開催。メタバースツアー企画を考えるための基礎学習を行なった。

四・学校教育審議会の審議状況について

小学校の再編に関するアンケート調査結果、荅北中学校の改築についての荅北町学校審議会の審議状況について、教育委員会から説明を受けた。議員から、いろいろな意見が多く出された。

五・荅北町第7次振興計画第14期基本計画(案)について

期間(令和6年度~令和10年度)の5年間
①産業の振興と安全性の向上、ゼロカーボンシティの実現に向けて
②結婚・出産・子育て支援と学校教育の充実に向けて
③協働体制の充実とコミュニティの活性化、健康寿命の延伸に向けて
3つの重点テーマを、第14期基本計画の主要施策として盛り込むとともに、実施計画で具体的な事業化を進めていく中で、「重点事業」として抽出・設定し、積極的に推進していくと、企画政策課から説明を受けた。

一般質問

安心して住めるまちづくり 人口減少への対応

浜口 国は2050年の将来推計人口を公表。荅北町は3,537人が推計された。熊本県全域の教育、福祉、産業等々の振興策として熊本県が平成6年に90分構想として策定された熊本天草幹線道路の早期完成が求められる。本幹線道路工事の現状と今後の進捗状況は。

荅北火力発電所の位置づけから旧本渡市止まりではなく荅北町まで区間を延ばして幹線道路の改良に取り組むべき。

町長 整備済み区間と整備中区間の合計延長が48・5キロメートル全体の約69%。 延伸は、熊本都市圏から天草市までの「90分構想の実現」に向けた熊本天草幹線道路の早期完成を関係機関と連携し強く要望を行っていく事が重要。

浜口 人口が半減する事への対応、海洋関係学園都市の構築は。 町長 天草拓心高校マリン校舎、九州大学天草臨海実験所と町教育委員会の3者で情報交換を行っている。

浜口 学校給食費の無償化を。 町長 令和6年度は給食の質や量を維持出来る様給食費を据え置く。学校給食費の無償化は令和7年度以降に判断。

浜口 就学前幼児の保育料負担額の無償化。 町長 令和6年度から保育料の完全無償化を実施。



荅北 雅英 議員

浜口 福祉施策の改善は。

町長 重度心身障害者医療費助成に係る現物給付を令和6年6月診療分から実施。

浜口 各地区のグラウンドは水はけや雑草、トイレ利用者等から苦情の多い環境整備を。

町長 定期的な点検を行い必要に応じて対策を実施してまいります。

浜口 女性の会や青年団の活動が重要視される。本町では当該団体の結成は不十分。

町長 女性の会や青年団など社会教育団体の再結成は厳しいものがある。

浜口 消防団の団員確保も非常に重要。

町長 各事業所等の協力を得ながら団員の確保に努める。

浜口 本町における働き手の不足から外国人の方が仕事に従事しておられる。この方々に対し行政としての対応は。

町長 事業主の方には国の指針に沿って取り組んでいただいている。技能実習生47名を含め77名の外国人の方が住民登録。

浜口 道路敷にセフティーコーンが目立つ。 町長 道路愛護の機運を高め道路の環境整備を進めてまいります。

質問者の文書と答

質問と答弁の要旨を掲載します。

◎稚魚放流と漁礁・藻場投入について

町長答弁 漁礁・藻場投入は漁業者の意向を

◎フェリー就航と「能登半島地震」に関連して

町長答弁 長崎市と協議。「町地域防災計画」で対応

問① 全国的な磯焼けや海水温度上昇等で海産物・漁獲量の減少と共に漁業従事者も減少。その実態は。

町長 町管内の漁協組合員数は、平成24年では276名。令和4年は、211名。漁獲高等は、平成24年は238t、2億4千万円。令和4年は170t、2億2千万円。漁獲高の減少幅が緩やかなのは、販売単価の高い養殖漁業拡大と考えている。

再質 長年にわたり、都呂々、富岡、上津深江、坂瀬川地先などに県町が実施主体で漁礁や藻場再生事業等に取り組まれてきた。また、町単独事業でウニの稚貝・車エビなどを放流、併せて県栽培漁業地域展開協議会事業で、マダイ稚魚等の放流が実施され、その成果が見られる一方、海藻を食する魚介類の食害で一進一退と思われる。その実態は。

また、今後も稚魚放流は継続し、状況では新規漁礁と藻場投入について、関係者と協議の考えは。

町長 今後も種苗放流や藻場再生事業は継続し、新たな漁礁や藻場への投入については漁協及び漁業者の意向を確認し、検討したい。

問② 富岡茂木航路(フェリー)で長崎市長との協議結果は。 町長 町から私、総務課長、商工



荅北 明 議員

観光課長と市役所で、鈴木市長、公共交通対策室の金原室長との対応に、茂木町在住の山口市議、旧五和町御領の山下市議にも同席いただいた。

意見交換で、長崎市と荅北町を含め天草全体で取り組む広域的観光の推進と、長崎・天草・鹿児島縦断ルートの活性化を図る必要があること。TSMCの進出や福岡都市圏へのアジア圏域からの観光客増加を始めとしたインバウンド需要の高まりへの対応として、長崎と天草地域双方の個性を活かした観光地を回るルート設定が必要。

また、元日に発生した能登半島地震を教訓に防災や物流、海上輸送の対応が必要で、フェリー復活に向け両市町間の交流を更に活発化する機運を高めるなどを話し合った。

再質 今回の半島防災に対し「荅北町地域防災計画」の見直しは。

町長 「荅北町地域防災計画」にも陸上交通が困難な場合、「船舶による輸送」及び「航空機による輸送」は記載。また、令和4年「災害発生時における荅北発電所港湾等施設の使用に関する協定」を締結し、県や天草2市と連携を図り対応したい。また、富岡茂木航路は防災面での重要性も強調していきたい。

問① 高齢者等の避難対策について
問② 危険家屋等の撤去等対策について
問③ 地域が輝く行政区活動補助金について



山口利生 議員

問① 苓北町は、高齢者や障害者等の特性に応じた専用の福祉避難所として、はまゆう療育園、梧葉苑、楽洋の里、寿康園、コミュニティセンターを指定している。町から高齢者等避難指示が発令された場合は、要支援者等の方も苓北町コミュニティセンターへ1次避難し、町が必要に応じて福祉避難所への受け入れを要請。しかしながら、介護を要する高齢者や障害者（児）者並びにご家族の皆様は、町指定の1次避難所での受け入れ態勢や共同生活に不安があり、やむを得ず自宅にとどまり避難できない状況。要支援者と家族が安心して避難できるためには、町指定の福祉避難所を1次福祉避難所に指定し直接避難できる体制を構築すべきと思うが町長の考えを問う。

町長 町の地域防災計画では、地震等の大規模災害以外は苓北町コミュニティセンターの2階部分を福祉避難所として指定し、避難所運営を行う考え。令和6年4月に、町と協定を締結している福祉避難所や地域福祉担当者等と災害時の対応や連絡体制、福祉避難所の運営等について改めて協議を行う予定。

問② 苓北町では、令和4年2月現在、空き家373棟（うち危険家屋40棟）あり、令和4年度から災害

発生のため危険家屋や危険建物等の解体及び処分費用の2分の1に相当する額（60万円上限）の補助金を創設したが、危険家屋の解体状況及び国の空家等対策の推進に関するガイドラインに沿った空家対策についての考えを問う。

町長 令和4年度に危険家屋4件、倉庫2件、令和5年度に危険家屋2件、倉庫1件を解体し、これまで420万円の補助金を支出。今後、令和5年12月に改正された「空家等対策の推進に関する特別措置法」及び各ガイドラインを参考に、空家や危険家屋の対策について適切かつ円滑な実施に向け取り組んで参る。

問③ 地域が輝く行政区活動補助金は、令和2年度から均等割（4万円）、人口割（2千円/人）、世帯割（350円/世帯）で算定し、令和5年度まで激減緩和措置を導入。この補助金は、各行政区にとって地域を維持するための重要な財源となっており、令和6年度以降の補助金の算定の考え方を問う。

町長 苓北町区長会との協議の結果、令和6年度から令和10年度までの5年間は、令和5年度までの助成基準により支援を継続し、激減緩和措置は本年度で終了。

問① 令和四年度決算において、税収の約半分が借入金返済に充てられていたと言う事は先の12月議会でも申しあげたが、令和三年度決算でも約53%、税収の約半分が借金返済であった。

令和四年度町民一人当たりの借入額は97万円である。これまで本町の行政執行は、防災や交通インフラの整備、町民サービス等後れを取っている。安心して住める苓北町を望むが、新年度の予算編成と今後の課題について尋ねる。

回答 第7次苓北町振興計画目標達成に向け財源確保に努め、予算編成方針を掲げ予算編成に当たった。各種施策を着実に実行していく。（施策等紙面の都合で省略）

問② 都呂々港管理道路として国道389号線から町道宮橋線に通じる道路がある。一級町道並の道路であるが、町道ではなく、充分な維持管理もなされていない。

問③ この道路は㈱レノバと貸借関係が行われ、地役権が設定され、使用料が徴収されている。他に実例があるのか又、不特定多数の利用者があるが、地役権が設定は町民に周知されているのか尋ねる。

町長 町管理道路の改修費を企業側に求められていると言うが事実か尋ねる。

町長 事実だとするとこれまでに苓北町では、企業進出について優遇施策がとられてきた。町道と同等であるこの道路の改修費を企業に負担させるのは町として妥当でない。又土地の賃貸料が年間約1千万円以上ある。これまでにこの様な類はない。この事からも、他誘

致企業と同様の対応をすべきと思うが？

町長 事業者が必要とする事項については協力をしていく（地役権の設定は他にはない、通行は妨げない等他の曖昧な回答であった。）

問④ 事業費約370億円の天草広域連合新ゴミ処理施設事業で「事業契約無効確認、事業差し止め判決を求めた住民訴訟」が行われていると言うが、事実であればその経過等について尋ねる。又町長が副連合長、議長が委員として執行権に加わっている。なぜ我々町民に周知できないのか尋ねる。

町長 事実であり随時報告する。

問⑤ 加齢による難聴は65〜74歳で三人に一人、75歳以上では約半数が難聴に悩んでいると言われており、様々な社会生活に支障を来し、認知症の原因とも言われている。加齢性難聴は治療は困難であるが、補聴器を使用する事で、聞こえを補う事が出来る。補聴器購入費助成を強く要望する。

町長 聴覚障害6級相当が基準。手帳交付後に判定結果により、助成支援を行っている。

再質問 障害6級以上の助成支援が行われている事は知っているし、今回の要望事項ではない。質問内容を熟視され検討を望む。（障害6級は大声で1m以内で会話が可能と言う事）。



松本良人 議員

①九州電力苓北発電所と連携強化を
②白木尾台地法面崩壊対策事業の現況は
③肉食恐竜骨一部発見と文化財の取り組みは



高戸幸雄 議員

問① 郷土紙に九電社長の新春インタビューが掲載され低炭素化に向け石炭にアンモニアの混焼を実施した。後日、政府が宣言した温室効果ガスの排出ゼロにする「カーボンニュートラル実現」を早期に目指した記事も載せられている。過去に、本町は、非効率化発電所のフェードアウトの発言で不安を生じた経験がある。発電所の影響は大である本町との立ち位置は。県と九電と災害時港湾施設利用の協定が締結されたところがあるが、苓北町と発電所間の災害協定についての見解は。

町長 電源立地自治体として、九電本社に出向き振興計画の基本施策の一つとして改めて本町の姿勢を伝え確認してきたところである。町と、発電所間の災害時の支援、協定の体制については、今後協議を進めていく考えである。

問② 本事業については、幾度にも亘り論議が行われたところである。私も、本事業の重要性は認めつつも、施工内容及び、地権者の同意等から賛成することができなかった。令和5年6月議会にて施工方法や、湧水対策等検討を行い関係者の理解を得られる形で、事業の実施が出来る

るよう、努力に努めるとあるが見解を求める。

町長 本件については、議会において否決され、事業見直しの状況となったがその後、熊本県と協議を行い事業の一部を県営事業として実施可能との回答を得ているところである。今後、県と施工内容等擦り合わせ関係者の意見を十分踏まえ事業実現に向け、鋭意努力をする考えである。

問③ 2月15日苓北町で、7400万年前の地層から、日本で初めて肉食恐竜の骨の一部が見つかり違う部位が出てくることも期待している」と記者会見があった。今後、発見された場所等の情報開示についての対応方針は。

町長 2014年10月共同調査の際地層の転石から発見された。正確な場所等の開示については、盗掘や乱掘の虞があるため控えていただきたいと助言があつていたので、ご理解いただきたい。発見された化石については、天草市御所浦町の博物館で常設展示されることとなっている。今後は、頭の骨の発見の可能性もあり、「苓北町」の知名度アップにつながるよう考えている。

災害に備えた諸々の整備について

〔一〕福祉避難所の考え方について

問 福祉避難所は、要配慮者を滞在させることを想定した避難所である。今後高齢化がもつと進みその必要性が問われると思う。福祉避難所は、指定は何か所指定されているのか。

町長 はまゆう療育園、梧葉苑、楽洋の里、寿康園、コミュニティセンター、の五か所を指定している。

問 人材確保・必要な物資調達方法は。

町長 人材・物資の確保については、災害の種類、規模により必要とする人材、必要な物資の調達方法等が変わってくるので、関係団体との協議に基づき、災害状況に応じた対応を考えている。

問 要配慮者とその家族への周知・地域住民への周知は。

町長 周知については、毎年度、民生委員を通じて、各家庭の状況を聞きながら要配慮者の名簿、要支援者名簿を作成している。

〔二〕富岡港の管理体制について

問 道路網の災害を受けた場合に、海上輸送は必要不可欠と思う。フェリーが発着できる県営橋が整備されている。何時でも使用できるように整備が必要と思うが。

町長 自衛隊車両や給水車等の支援を海上から運搬する場合、運搬船

を直接岸壁に接岸できるランプウェイが付属している船舶での輸送や、同じく鬼池港から運搬する方法が考えられる。

〔三〕海岸沿線への防潮林（防災林）植栽について。（紺屋町・明神山地域など）

問 年月は掛るが、植栽することで、津波・強風・高潮時など防災効果がある。また、津波の波力を減衰、流速やエネルギーを低下させ、その破壊力を弱め、陸側の被害軽減、または防止する。樹木が漂流物の移動を阻止し、移動によって生じる二次的災害を軽減、防止する。また、津波にさらわれた人のすがりつく対象物となるなど諸々の効果が考えられる。

町長 背後の住宅地を塩害から守るため、防潮林の植栽は大変効果的であると認識しており、今後必要な箇所には植栽を行いたいと考えている。

防災上の効果及び環境保全機能や保健・レクリエーション機能など、樹木が持つ多面的な機能についてしっかりと伝え住民の理解を得ながら、適所への防潮林の植栽については検討して参りたいと考えている。



錦戸俊春 議員

問① 带状疱疹ワクチン接種への費用助成について

町長 苓北町民の健康保持のため、令和6年4月1日から実施できるように当初予算案に当該接種費用助成金を計上した。

対象者は50歳以上で、接種日に苓北町に住民票がある方、助成額は、接種費用の半額とし、生ワクチンの上限を5千円、不活化ワクチンのそれを1万円の2回とする予定。接種費用をいったん医療機関に支払った後、申請書を提出しての償還払いを想定している。

問② 1. マイナ保険証について、マイナカードと健康保険証としての紐づけ状況

町長 令和6年1月末現在苓北町国保被保険者1,629人、内マイナカード取得者1,348人、内マイナ保険証な方1,262人の状況となっている。

後期高齢者被保険者1,587人、内マイナカード取得者1,241人、内マイナ保険証な方1,134人の状況となっている。

2. 令和6年度の紙の保険証の一齐更新は行うのか

町長 簡易書留郵便にて、8月に行う。令和7年7月まで使用可。



廣田 幸英 議員

3. 国税滞納者への短期保険証の発行は、今後どのようになるのか

町長 短期保険証の仕組みは廃止となり、資格証明書を交付することになる。医療機関・薬局の窓口での個人負担が10割負担となり、役場に申請をすることで、7割もしくは8割分を滞納している国税に充てることとなる。

問③ 健康ポイント制度について

この事業の詳細な周知徹底、初動についてどう考えているのか、本町が持つ独自性をどう追加するのか。

町長 4月にリーフレットを全戸配布する。事業所訪問、PTA総会、街頭宣伝、温泉センター、温泉プールでの宣伝等を予定。

操作が難しいと思われる方への出前講座等の支援も行う。

ミッションとして登録する本町独自のイベント等は今後速やかに関係各課と連携を深め、取りまとめる予定である。具体例として、町民体育祭やマラソン大会、町主催等のグラウンドゴルフ大会が考えられる。

1. 「空き家バンク」活用提案
2. 移住・定住の取り組みについての提案



田嶋 健司 議員

問① 日本政府は、台湾有事への懸念が強まっていることを踏まえ、国民の避難計画を策定する為に九州各県との協議を進めている。苓北町にも、大型船を就航することが可能な港を有する火力発電所がある。避難施設としては、廃校や多くの空き家を活用できるのではないかと。令和6年度の計画に「空き家バンク」への登録を前提にしたリフォーム補助金の倍増と、町独自の政策を予定されているが、避難地候補として手を挙げることに、国や県に更なる施策の後押しをお願いしてはどうか。

町長 有事の場合は、国民の安全保護上、国からの指示によることになると思われる。苓北発電所港湾施設の利用も、火力発電所における安全運転管理上の問題等も懸念され、事前の十分な調整等、慎重な対応が求められると考える。

また、基本的に空き家は個人所有の物件であり、所有者の考えに基づき空き家バンクに登録されるもの。有事を想定した避難施設として空き家バンク登録物件を確保することは、大変厳しいものと考えられる。なお、空き家を避難施設とするための改修費用について、国・県の補助制度の有無について、

現時点でも令和6年度においても予算措置はないようである。

問② 移住を考えている人にとって、住まいや、環境、気候、人間関係等、地方移住に対しての不安は沢山ある。その不安を少しでも和らげるためにも、「お試し住宅」を計画してはどうか。「空き家バンク」の中から、または町営住宅等を利用して、生活に必要な物(例えば、家電製品、家具)を備えた、身体一つで来て住める「お試し住宅」があれば、移住を考えている人の不安を和らげて、移住へのハードルが低くなり、移住しやすくなるのではないかと。

町長 「お試し住宅」につきまして、本町において、令和3年度から取り組んでおり、川向地区に在る教職員住宅1戸にて受け入れをしている。これまでの利用件数は、令和3年度、4年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり利用はなかったが、今年度は4件の利用があった。

再質 坂瀬川地区だけではなく、他地区でも検討してみてもどうか。また、利用者のアンケートや利用状況を分析して、更なる広報活動を望む。

議会活性化等検討特別委員会

① 農業政策について
② 教育問題について



田嶋 健司 議員

問① この1年間、農業所得の安定確保のために、国、県に対し働きかけをもらってきたが、私たちの望む方向に進みそうにない。そのような中、町では稲作の準備が始まろうとしている。米価は低迷したままで、早急に回復する状況にはない。

町の価格安定政策が実施するまで町として稲作農家の所得向上に対し、何らかの対策をとる必要があると考えるが、どうか。

町長 農業所得の安定確保については、今後とも頑張っていく。米の価格が下がらない要因としては、国内における米の需要量、消費量の減少が考えられる。町としては米の消費拡大として、遊休農地を解消し、地元で生産した米を管内学校給食に活用して行きたいと考える。

再質 今の国の政策の中で、水田所得を少しでも上げるには、飼料用稲、飼料米を栽培するのが一番良い方法だと考えるが、それを拡大する考えはないか。

町長 天草地域だけではきびしいので、町外畜産農家と連携ができれば、と考える。

再々質 そういった情報を提供していきたいので町の支援をお願いしたい。

問② 教育委員会においては、令和元年から管内小学校の統合の是非につ

き、学校関係、PTA、地域住民を含め多くの人たちの意見を聴取され、「学校教育審議会」において集約されたとのこと。最終的にどのように方向づけられたか。統合の方向に決定されたのなら、それまでのスケジュールは。

また、統合のメリットを活かし、子どもたちに、その能力に応じて、等しく教育が受けられるようにスピード感を持って進めてもらいたい。

町長 令和5年12月19日小中学校に関する情報交換会において、今後の進め方としては、「小学校においては、統合やむなし、統廃合する方向で今後審議を進めていく」と決定した。

令和6年2月15日の会議では、「苓北町における教育目標」のたたき台や統廃合後の教育課程等について審議を行い、方向性が決定すると約2年間を掛け、新しい学校の内容を協議決定していくスケジュールとなる。

統合のメリットを活かし、子どもたちの個々の能力に応じて、等しく教育を受けられるよう充分配慮しながら対応していく。

再質 統合により、苓北町における新しい教育課程が組まれるということで大いに期待をしたい。子育て世代の皆さんが、苓北町で教育を受けたい、という学校環境を作ってもらいたい。

1月30日(火)
第1・第2委員会室

議会議場の改修について

(令和5年6月定例会一般質問された庁舎議場レイアウトの見直しについて、町長から議会全体の総意として検討するよう答弁があり議題とした。)

協議の結果 今後、タブレット等機器導入を検討する中で引き続き協議を行っていく。

タブレットの導入について

(新たな議場システム及びペーパーレス化を目指して、タブレットを導入して議会運営にあたっては、天草市議会事務局を議長及び議会活性化等検討特別委員会正副委員長並びに議会事務局長の4名が先行して、行政視察を行った。その調査報告をもとにタブレット導入についてを議題とした。)

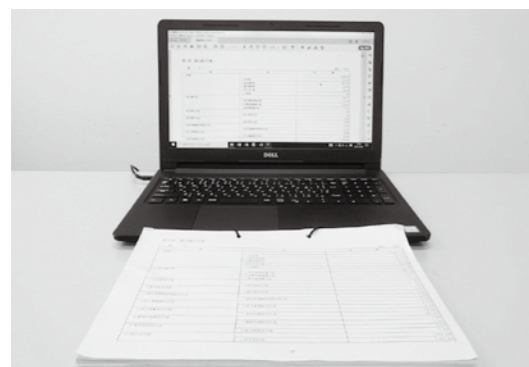
協議の結果 機器導入経費を勘案してタブレットに代わり現在町が所有するパソコンを利用した検討も一つとして提案があり、次回には、行革デジタル対策室長の出席を求め再協議の運びとなった。

2月19日(月)
第1・第2委員会室

タブレット等の機器導入に伴う議場改修について

(当初の議会運営では、機器としては、タブレット導入であったが、町所有のパソコンを利用して運営にあたることとして、その場合は、必要最小限度の改修に努めることとし議題とした。)

協議の結果 運営については、従来の紙ベースとするが、パソコンにも、予算書等関係書類一式も取り込み将来に備えることとし、改修については、機器に必要なコンセント類の増設としたい。



予算審査特別委員会では、パソコンで見る予算書と紙の予算書の両方を用いて予算審査が行われた。



町花「はまゆう」

議 会 日 誌

※主なものを載せています

(1月22日以降分)



町木「ツバキ」

1月

- 23日 県町村議会議長会議員研修会
(Web研修：苓北町役場)
- 30日 全員協議会
- 30日 議会活性化等検討特別委員会

2月

- 19日 令和6年第1回苓北町議会臨時会
- 19日 議会活性化等検討特別委員会
- 26日 議会運営委員会

3月

- 6～14日 令和6年第2回苓北町議会定例会
(11.12.13日は予算審査特別委員会、
9.10日は休会)
- 6・7日 全員協議会
- 14日 総務文教厚生常任委員会
- 14日 建設経済環境常任委員会
- 14日 議会広報特別委員会

4月

- 1・9日 議会広報特別委員会

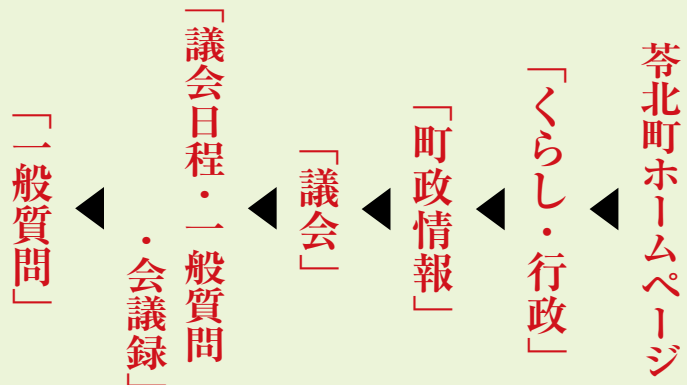
次の定例会は

6月です。

- 2月臨時会の傍聴者は、**8人**でした。
- 3月定例会の傍聴者は、**45人**でした。

会議録は、右記「議会日程・一般質問・会議録」内の「会議録」で閲覧できます。

「定例議会の一般質問がインターネットで聞けます」



上記の順で開いて行くと一般質問の様子が録音放送にて聞けます。(苓北町ホームページがリニューアルされました。)

編集後記

平成26年10月に苓北町の地層で見つかった大きさ15センチほどの化石が食物連鎖の頂点に君臨した生き物の下あごの骨だった、と令和6年2月15日、天草市において、記者発表が行われました。このティラノサウルス科の恐竜の骨が国内で「初発見」されたという事実が何を意味するのか。従来、北米とアジア、取り分けモンゴルや中国の内陸部だったようですが、今回発見されたのは、島国である日本、しかも海沿いとなる、わが「苓北町」なのです。骨の中でも、背骨や肋骨の骨の数は多い。ただしあごの骨は限られる、その化石が、わが「苓北町」から出てきたというのです。太古の地球では、北米、東アジア、日本は大陸続きだったのでしようか、何かロマンを感じます。

さて、3月議会定例会は、「予算議会」と言われています。

町民の喫緊の生活課題に目を向けつつ、次のステージに飛躍するための予算執行をと、願うところです。

今後とも議会議場において議員が一般質問した、また政策討議した内容をわかりやすく読者の皆様へお伝えしていければと考えております。

その媒体となる、苓北町議会だより「きずな」を今後ともよろしくお願いたします。

議会広報特別委員会